

美術工芸館 Newsletter

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館

Tohoku Fukushi University
Serizawa Keisuke Art and Craft Museum
ニュースレター 2025年11月 Vol.8

学園創立 150 周年記念展開催！

2つの会場で展覧会を開催しました

Report
01

仙台駅東口キャンパス 東北福祉大学ギャラリーミニモリ

「文字×芹沢銈介ー湧き出づる創造ー」展

仙台駅東口キャンパスのギャラリーミニモリ1階で「文字×芹沢銈介」展(9/24~10/24)を開催しました。芹沢作品の中でも特に評価が高い“文字”をモチーフにした作品約110点を一堂に展

示。芹沢自身が蒐集し、その制作に大きな影響を受けた李朝の文字図《孝の字》や、芹沢が刷毛で描いた鳥や富士山、飛白体の梵字など、貴重な作品も紹介しました。会場の吹き抜けロビーには芹沢のファンだった版画家・池田満寿夫の書《般若心経軸》を掛けて、来館した方々に芹沢や池田の様々な文字の形や書体、色彩を堪能していただきました。



軸
Quiz

答えは最後のページにあるよ！

Q: この《般若心経軸》の大きさは？

①50cm四方、②5m四方、③10m四方

「荘厳の世界 芹沢銈介」展

学園創立150周年を記念し、美術工芸館では「荘厳の世界 芹沢銈介」(9/16~2026.1/30)が開催されています。曹洞宗開祖・道元禅師の肖像画、釈迦如来像、釈迦十大弟子像など仏教主題を主に約120点を紹介する本展。大教室から展示室に遷坐した「釈迦牟尼仏」の特別展示、法堂や坐禅堂の見学など、本学に伝わる曹洞宗の仏教精神をご体感頂ける企画展です。

開幕に先立つ9月8日には、千葉公慈学長(当館館長)を導師に、萩野寛雄教授、佐藤泰伸助手、仏教専修科の教職員協力のもと、開講法要が執り行われました。導師入堂の七下鐘導師上殿、仏に香りを供える散華荘厳、法語と進み、参列者も交えた般若心経の読経が響く展示室。法要後に千葉学長は「人にとって根ざすべき大切な宝である美・善・真・聖の四つの心を、芸術の世界から極められ、(作品を)世に残されたのが芹沢銈介先生だと思っています」と語りかけ、館内は終始厳かで清廉な空気に包まれていました。



展覧会にあたり、
千葉学長(当館館長)より
解説文をご寄稿いただきました

作品紹介
芹沢銈介 どうげんぜんじ かんげつぞう《道元禅師観月像》



芹沢銈介作《道元禅師観月像》は、曹洞宗の宗祖・道元禅師(1200~1253)が月を静かに見つめる姿を描いた作品である。元絵は福井県大野市宝慶寺所蔵の《絹本著色 道元禅師図像》(鎌倉時代)とされる。

道元にとって「観月」とは、単なる自然の美しさを愛でるという以上の、深い禅的意味が込められており、月(または都機)は、主著『正法眼蔵』や語録などにおいて、しばしば仏性や真理の象徴として用いられている。

また芹沢の「観月像」には、道元禅師の月(悟り)を見据えた厳粛な面持ちが、柔らかな色彩と筆の動きによって気高く表現されている一方、どこか親しみのある雰囲気を感じられ、観る者に深い内省を促すものとなっている。

千葉 公慈

新しいオリジナルグッズが登場



今年、新しいオリジナルグッズが登場しました。風の字をあしらった一筆箋、収藏品から選んだ絵葉書4種、そして館内の内装デザインに使われている芹沢文様をプリントしたエコバッグ3種。どの文様がどこにあるのか、探してみてください。

学園創立150周年を
記念してできた
オリジナル
エコバッグです



好評！共通チケット

今年2025年は、芹沢銈介生誕130年と学園創立150周年が重なる記念すべき年でした。美術工芸館では、前期・後期の2回にわたり、国見キャンパスの美術工芸館と仙台駅東口キャンパスのギャラリーミニモリの2会場同時開催で展覧会を開催しました。前期には、芹沢銈介生誕130年記念として、その生涯を春夏秋冬に見立てながら代表作を紹介した「模様の道—生涯の四季を歩む—」（4/21~7/18）を国見キャンパスで、また、海外にも輸出され人気を博したカレンダーなどの染紙作品を特集した「美しきものへ—芹沢染紙研究所の仕事—」（5/23~7/20）を東口キャンパスにて開催。これにあわせて2つの展覧会を割引価格（通常1000円→800円）でご覧いただける共通チケットを発売したところ、約半数のお客様にご利用いただき好評を得ました。

芹沢銈介生誕130年記念展については、次号であらためてご紹介します。

軸 Answer

A: ②5m四方

この作品は現代版畫の代表的作家・池田満寿夫（1934-1997）の書です。池田は版畫以外にも繪画、挿繪、彫刻など幅広いジャンルにおいて活躍しました。晩年「陶こそが般若心經にふさわしい」と陶芸の作品を制作、その頃、本学で講演をお願いしたご縁から、会場のステージ上で般若心經を書いていたいただいたのがこの作品です。4m四方の巨大な手漉き和紙に266字が書きあげられています。



軸の大きさは5m四方。展示作業には何人もの手が必要です。